

「北九州国際映画祭」 北九州フィルム・コミッション支援作品上映会の実施、 『逃げきれた夢』の上映&光石研氏・吉本実憂氏登壇決定！

令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」の会期中、北九州フィルム・コミッション支援作品上映会の実施が決定いたしましたので、お知らせいたします。

上映作品は『逃げきれた夢』、併せて、北九州市出身の俳優**光石研氏**（北九州市観光大使）及び**吉本実憂氏**（北九州市文化大使）**にご登壇**いただき、作品に対する想いや見どころなどを語っていただきます。

なお、当上映会において上映する『Dear Kitakyushu』（令和5年9月1日、10月4日記者発表済）のご登壇ゲストなどの詳細は、別途お知らせいたします。

1 上映日及び上映会場

(1) 上映日

令和5年12月14日（木） ※ 上映時間は別途お知らせいたします。

(2) 上映会場

J:COM北九州芸術劇場・小劇場

2 上映作品

『逃げきれた夢』

誰もが思わぬタイミングで迎える、人生のターニングポイント。北九州の定時制高校で教頭を務めている末永周平もその一人。毎日のように昼食に立ち寄る元教え子の南が働く定食屋で、周平は支払いをせず無言で立ち去ってしまう。定年を前にして、記憶が薄れていく症状に見舞われたために、これまでのようには生きられなくなってしまったようだ。待てよ、「これまで」って、そんなに素晴らしい日々だったか？ あんなに愛し合って結婚したはずの妻との仲は冷え切り、会話どころか目を合わせることもない。可愛くて仕方なかったはずの一人娘は、父親よりスマホと過ごす時間の方が楽しそうだ。



©2022『逃げきれた夢』
フィルムパートナーズ

気さくで優しい先生のもりでいたが、心から慕ってくれる生徒なんて一人もいない。青春時代を共に過ごした親友との友情も、忙しさを理由にちっとも大切にしていない。

新たな「これから」に踏み出すために、「これまで」の人間関係を見つめ直そうとする周平だが――。

監督・脚本：二ノ宮隆太郎 撮影：四宮秀俊 照明：高井大樹
録音：古谷正志 美術：福島奈央花 衣装：宮本まさ江
ヘアメイク：吉村英里 音楽：曾我部恵一
出演：光石研、吉本実憂、工藤遙、坂井真紀、松重豊
96分 日本 2023年

3 ご登壇ゲスト

(1) 光石研氏プロフィール

1961年9月26日生まれ、福岡県出身。高校在学中に『博多っ子純情』(78)のオーディションを受け、主役に抜擢される。以後、冷徹なヤクザから良き父親役まで様々な役柄を演じ、映画やドラマ界では欠かせない存在として活躍。2016年には第37回ヨコハマ映画祭助演男優賞(映画『お盆の弟』(15)・『恋人たち』(15))、2019年には第15回コンフィデンスアワード・ドラマ賞 主演男優賞(「デザイナー 渋井直人の休日」(TX))を受賞。同年には出身地の北九州市より市民文化賞を受賞。近年の主な映画出演作は『青くて痛くて脆い』、『喜劇 愛妻物語』(20)、『バイプレーヤーズ～もしも100人の名脇役が映画を作ったら～』『浜の朝日の嘘つきどもと』、『由宇子の天秤』、『マイ・ダディ』(21)、『おそ松さん』、『やがて 海へ と届く』、『メタモルフォーゼの縁側』、『異動辞令は音楽隊!』(22)、『波紋』(23)など。



(2) 吉本実憂氏プロフィール

1996年12月28日生まれ、福岡県出身。全日本国民的美少女コンテスト グランプリ受賞し芸能界デビュー。2014年『獣医さん、事件ですよ』(NTV)でテレビドラマ初出演、同年12月には映画初出演で初主演作品となる映画『ゆめはるか』が公開される。その後ドラマ、映画を中心に活躍。2021年第30回日本映画批評家大賞 新人女優賞(『瞽女GOZE』)を受賞。

【主な出演作】 罪の余白(15)、レディ in ホワイト(18)、JK ☆ROCK(19)、透子のセカイ(20)、大コメ騒動(21)、あの時、長崎。消えない虹(22)、ダウンタウン・ユートピア(23)



(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、堀池 電話：093-582-2389